

日本方言研究会

第94回 研究発表会

日時 2012年5月18日(金曜日)〈日本語学会春季大会の前日〉

場所 千葉大学 けやき会館 <http://www.chiba-u.ac.jp/events/keyaki/>
〒263-8522 千葉市稲毛区1-33

交通 JR西千葉駅から徒歩約7分, 京成電鉄みどり台駅から徒歩約7分

▼午前の部 10時00分～11時50分

- 1) 大阪方言におけるノダ相当表現「ノヤ」「ネヤ」「ネン」 【野間純平】
- 2) 首都圏若年層による動詞「言う」のテ形ウ音便の使用
一文頭部に使用される「ゆうて(も)」に注目して 【原田幸一】

▼午後の部 14時30分～17時50分

- 3) 滋賀県長浜市における待遇表現
—複数の待遇表現形式が使用される地域における運用— 【酒井雅史】
- 4) 奄美沖永良部島におけるオノマトペの言語分布について 【徳永晶子】
- 5) 琉球方言の断定非過去形について 【仲原穰】

▽東日本大震災関係ポスター発表 12時25分～14時25分

- 1) 復興スローガンにおける方言の使用と意識 【魏ふく子・石山理恵】
- 2) 支援者のための方言パンフレット作成とその有用性
【坂喜美佳・小原雄次郎】
- 3) 「震災を語る方言談話資料」の試み 【白岩広行】
- 4) 円滑な医療コミュニケーションのための方言集
—『東北方言オノマトペ用例集』の取り組み— 【竹田晃子】
- 5) 被災地方言の記録と保存
【田附敏尚・川越めぐみ・椎名渉子・内間早俊・佐藤亜実】
- 6) 震災の中で方言研究者ができること, なすべきこと 【津田智史・小林隆】
- 7) 情報ネットワーク「東日本大震災と方言ネット」の構築 【中西太郎】

- 懇親会 18時00分～20時00分 於:けやき会館3階レセプションホール
(会費 一般5000円, 学生3000円)

〒190-8561 東京都立川市緑町10-2
国立国語研究所 気付 日本方言研究会事務局
TEL:042-540-4486 URL:<http://dialectology-jp.org>
E-Mail:hougen-jim@e-mail.jp
